

助成事業

高校・特別支援学校総会並びに講演会

部会長 飯田ひとみ

本年度の高校・特別支援学校部会総会は、平成26年8月23日(土)に、ホテルグランドパレス徳島にて、渭水会から石井博会長様、濱田治良副会長様、秋山賢治副会長様、毛利久康理事長様、大井美弥子事務局長様、総合科学部から平井松午学部長様のご臨席を賜り、また、顧問の皆様、高校・特別支援学校の会員の皆様のご出席のもと盛大に開催されました。

総会では、平成25年度の会務報告・決算報告の後、平成26年度の役員選出、会務計画・予算案についての審議を行いました。会務報告・決算報告・会務計画・予算案につきましては、事務局提案のとおり承認されました。

平成26年度の役員につきましては、現職の校長が副会長に、現職の副校長・教頭が監事に、退職された校長先生方を顧問に就任させていただくことにご了承いただきました。また、今回の総会において次期部会長として、徳島市立高等学校の井上薫校長先生を選出し、井上校長先生よりご快諾をいただきました。来年度につきましても、どうかよろしく願いいたします。また、総会終了前に、出席者全員が自己紹介をし、和やかな雰囲気の中、総会を閉じました。

講演会では、徳島県における英語教育の第一人者であり、国際交流で活躍されている四国大学総務・企画部参事の田淵憲治先生(S48. 中学校課程英語科卒)を講師にお招きし、「国際理解教育とグローバル人材の育成」をテーマに、ご講演をいただきました。

国際化にともなう教育政策の動きでは、第二次世界大戦以後国際理解教育に目が向けられ、中教審答申が出されるたびに、異文化理解や国際交流が学校教育に深く浸透されるようになりました。現在の国際理解教育の現状や目指す視点、今何が求められているかなど、詳しく教えていただきました。

また、田淵先生が高等学校で校長先生をされているときに、人権教育や国際理解の視点からワークショップを行ったこと、修学旅行でドイツに行き、その後もドイツとの交流を深めてきたことなど、画期的な取り組みにより学校改革を図られたお話には感銘を受けました。

日本の国においても、今グローバルな人材を育てていこうとする大きな動きがあり、さまざまな育成

事業の取り組みがあることを知りました。最後に、「国際理解教育は、グローバル時代に即した『人づくり』であり、異なる価値観を認め合い、相手の人権を尊重する教育でなければならない」という言葉が、とても印象に残りました。

総会・講演会・懇親会

日時 平成26年8月23日(土)

場所 ホテル グランドパレス 徳島

講演会 講師： 田淵 憲治 氏

四国大学 総務・企画部参事

演題：「国際理解教育とグローバル人材の育成」

事務局 徳島県立国府支援学校



講演会の様子

講師：田淵 憲治 先生



今回の講演会は、徳島大学渭水会本部の「渭水会助成事業」による助成金のもと開催いたしました。本部会には、学芸学部・教育学部・総合科学部卒業の各世代から幅広くご参加いただきました。世代は異なっても、同じ徳島大学渭水会という同窓の絆を確認し、友好を深める場となりました。

今後とも、大勢の会員の皆様のご参加をお願いいたします。

(部会長：昭和53年養護学校課程卒業 飯田)

